

# GENWARE AIR 無償体験版操作手順書



---

株式会社 アイ・エル・シー

[www.ilc.co.jp](http://www.ilc.co.jp)

---

## 目次

1	はじめに.....	1
1-1	記載内容一覧.....	1
1-2	無償体験版内容物一覧.....	1
2	アプリケーション構成.....	2
2-1	サーバアプリケーションとクライアントアプリケーション.....	2
2-2	ソフトウェア構成.....	2
2-3	サーバアプリケーションとクライアントアプリケーションの連携動作.....	3
3	無償体験版でできること.....	4
3-1	1 台の Windows PC 上での GUI アプリケーションの連携動作.....	4
3-1-1	システム構成.....	4
3-1-2	プログラムの起動方法.....	4
3-2	2 台の Windows PC 間での GUI アプリケーションの連携動作.....	7
3-2-1	システム構成.....	7
3-2-2	プログラムの起動方法.....	7
3-3	Windows PC とスマートデバイス間での GUI アプリケーションの連携動作.....	9
3-3-1	システム構成.....	9
3-3-2	Android 用クライアントアプリケーションのダウンロード.....	9
3-3-3	プログラムの起動方法.....	10
4	次のステップへ.....	13
4-1	Raspberry Pi を使用した PoC 開発キット.....	13
4-2	GENWARE AIR 商品貸出し.....	13

## はじめに

## 1 はじめに

本書は GENWARE AIR 無償体験版の使い方を説明する文書です。

無償体験版では、GENWARE AIR を使用して作成したサンプルアプリケーションをお客様の手元の環境で動作させて動きを確認することができます。

## 1-1 記載内容一覧

本書の記載内容を表 1-1 に示します。

表 1-1 本書の記載内容

項目	記載内容	備考
アプリケーション構成	サンプルアプリケーションの構成を記載します。	
無償体験版でできること	無償体験版で体験できることを記載します。	
次のステップへ	GENWARE AIRに興味を持っていたお客様へのご案内を記載します。	

## 1-2 無償体験版内容物一覧

GENWARE_AIR_Trial	
はじめにお読みください.pdf	．．． 導入文書
無償体験版操作手順書.pdf	．．． 本書
Client.exe	．．． クライアントアプリケーション起動コマンドファイル
Server1.exe	．．． サーバ1 アプリケーション起動コマンドファイル
—SampleClient	．．． クライアントアプリケーション格納フォルダ
—SampleServer1	．．． サーバ1 アプリケーション格納フォルダ
—Util	．．． その他のツール格納フォルダ

図 1-1 無償体験版の内容物一覧

## アプリケーション構成

## 2 アプリケーション構成

## 2-1 サーバアプリケーションとクライアントアプリケーション

GENWARE AIR を使用して動作するアプリケーションは、以下の 2 種類があります。

## (1) サーバアプリケーション

組込機器上で動作するアプリケーションです。

サーバアプリケーションはお客様が画面作成ツールを使用して開発するものです。画面作成ツールは無償体験版には含まれません。作成済みのサーバアプリケーションをサンプルとして無償体験版に同梱します。

## (2) クライアントアプリケーション

タブレットやスマートフォンなどのスマートデバイス上で動作するアプリケーションです。

クライアントアプリケーションは各種 OS(Windows, iOS, Android)用に ILC が提供する汎用的なアプリケーションです。

## 2-2 ソフトウェア構成

サーバアプリケーションとクライアントアプリケーションは Ethernet/Wi-Fi 経由で通信を行って画面連携を行います。

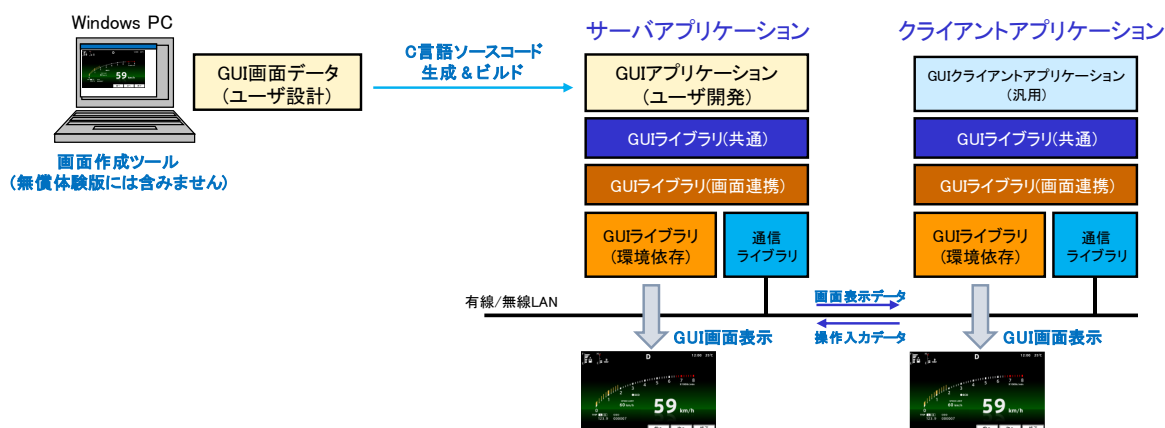


図 2-1 ソフトウェア構成

## アプリケーション構成

## 2-3 サーバアプリケーションとクライアントアプリケーションの連携動作

サーバアプリケーションとクライアントアプリケーションの連携手順を以下に説明します。

## (1) サーバアプリケーションとクライアントアプリケーションの起動と接続操作

サーバアプリケーションを起動すると GUI アプリケーションの動作を開始します。

クライアントアプリケーションを起動すると接続待ちの黒色の画面を表示しますので、接続操作を行います。

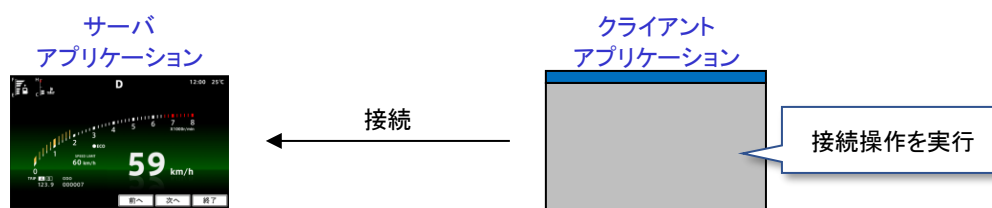


図 2-2 サーバアプリケーションとクライアントアプリケーションの起動と接続操作

## (2) サーバアプリケーションとクライアントアプリケーションの連携動作

サーバアプリケーションとクライアントアプリケーションの接続が成功すると画面の連携動作が始まります。

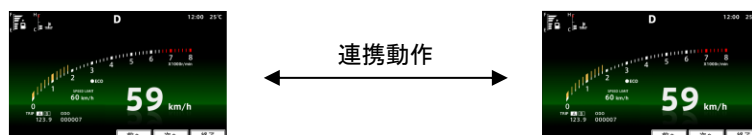


図 2-3 サーバアプリケーションとクライアントアプリケーションの連携動作

連携動作が始まると、サーバアプリケーションとクライアントアプリケーションともにマウスまたはタッチパネル操作が可能となり、表示内容が同期します。

## 無償体験版でできること

### 3 無償体験版でできること

#### 3-1 1 台の Windows PC 上での GUI アプリケーションの連携動作

##### 3-1-1 システム構成

1 台の Windows PC 上でクライアントアプリケーションとサーバアプリケーションを動作させる GUI アプリケーションの連携動作を確認する最小構成となります。

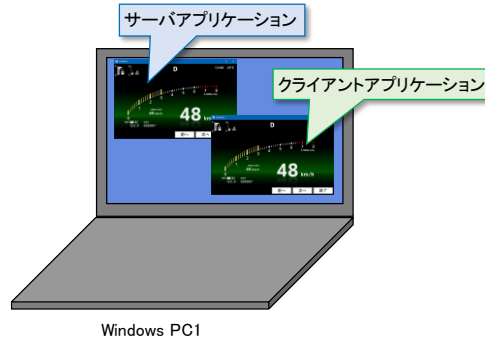


図 3-1 システム構成

##### 3-1-2 プログラムの起動方法

###### (1) サーバアプリケーションの起動

Windows PC1 上で図 1-1 の Server1.exe を起動してください。

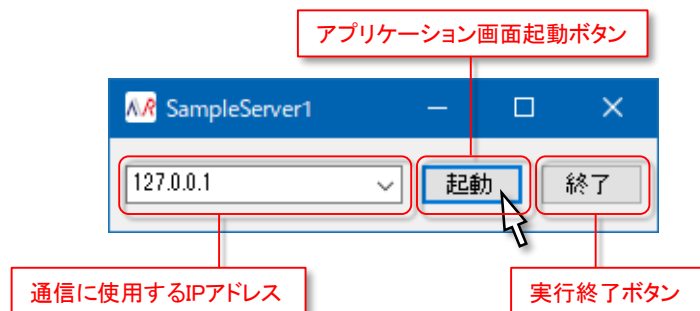


図 3-2 Server1.exe で起動する画面

1 台の PC 上でクライアントアプリケーションとサーバアプリケーションを接続するため、IP アドレスはローカル IP アドレス(127.0.0.1)を選択した状態で[起動]ボタンを押下してください。サーバアプリケーションが起動します。

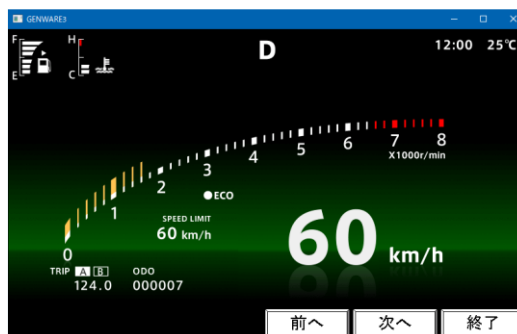


図 3-3 サーバアプリケーションの起動

## 無償体験版でできること

### (2) クライアントアプリケーションの起動

Windows PC1 上で図 1-1 の Client.exe を起動してください。



図 3-4 Client.exe で起動する画面

1 台の PC 上でクライアントアプリケーションとサーバアプリケーションを接続するため、IP アドレスはローカル IP アドレス(127.0.0.1)を選択した状態で[起動]ボタンを押下してください。

### (3) クライアントアプリケーションとサーバアプリケーションの接続

クライアントアプリケーションのメニュー [接続(C)] → [jp.co.ilc.gcommunicator.server.app1] を選択します。



図 3-5 クライアントアプリケーションとサーバアプリケーションの接続

クライアントアプリケーションとサーバアプリケーションの連携動作が始まります。

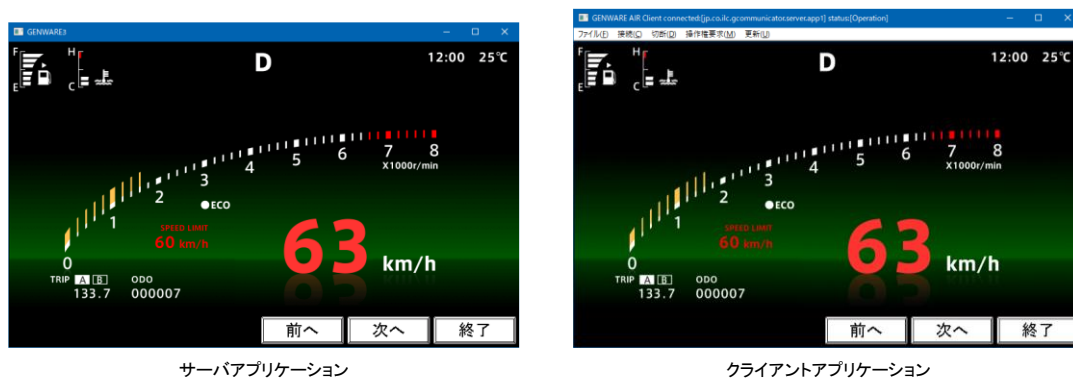


図 3-6 クライアントアプリケーションとサーバアプリケーションの連携動作

## 無償体験版でできること

---

### (4) アプリケーション操作方法

画面上の[前へ]、[次へ]ボタンを押下することにより画面切換えを行います。

画面上の[終了]ボタンを押下することによりアプリケーションを終了します。



無償体験版でできること

### 3-2 2 台の Windows PC 間での GUI アプリケーションの連携動作

#### 3-2-1 システム構成

2 台の Windows PC 上でクライアントアプリケーションとサーバアプリケーションを動作させる構成となります。

※下図の IP アドレスはサンプル例となります。お客様のネットワーク環境に合わせて読み替えてください。

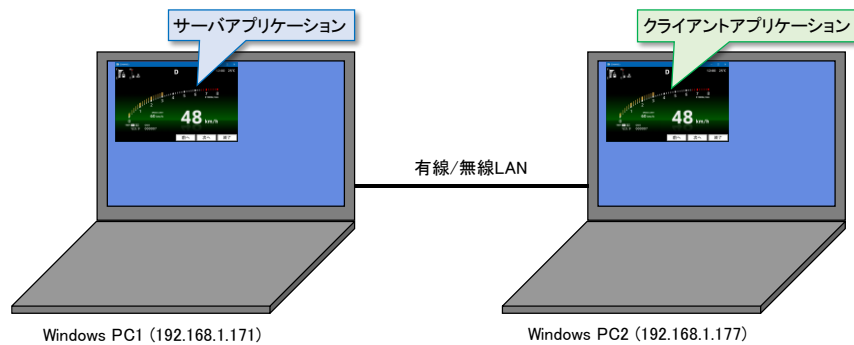


図 3-7 システム構成

#### 3-2-2 プログラムの起動方法

##### (1) サーバアプリケーションの起動

Windows PC1 上で図 1-1 の Server1.exe を起動してください。

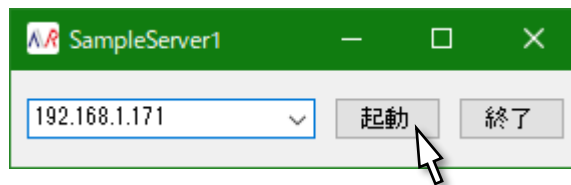


図 3-8 Server1.exe で起動する画面

Windows PC1 と Windows PC2 を接続するネットワークにおける Windows PC1 の IP アドレス(上記の例では 192.168.1.171)を選択した状態で[起動]ボタンを押下してください。サーバアプリケーションが起動します。

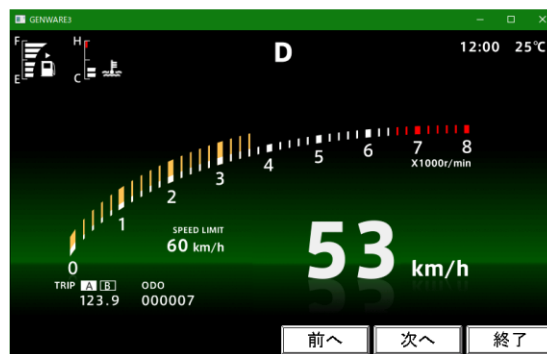


図 3-9 サーバアプリケーションの起動

## 無償体験版でできること

### (2) クライアントアプリケーションの起動

Windows PC2 上で図 1-1 の Client.exe を起動してください。



図 3-10 Client.exe で起動する画面

Windows PC1 と Windows PC2 を接続するネットワークにおける Windows PC2 の IP アドレス(上記の例では 192.168.1.177)を選択した状態で[起動]ボタンを押下してください。

### (3) クライアントアプリケーションとサーバアプリケーションの接続

クライアントアプリケーションのメニュー [接続(C)] → [jp.co.ilc.gcommunicator.server.app1] を選択します。

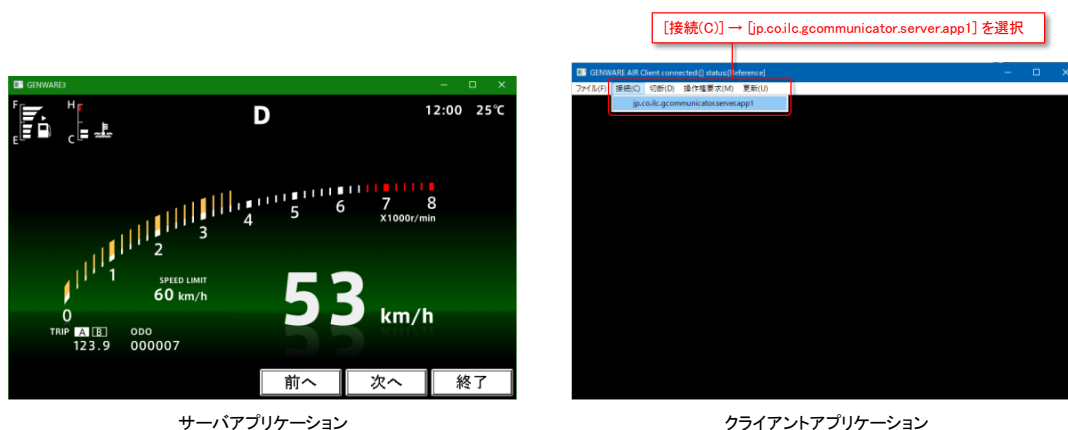


図 3-11 クライアントアプリケーションとサーバアプリケーションの接続

クライアントアプリケーションとサーバアプリケーションの連携動作が始まります。

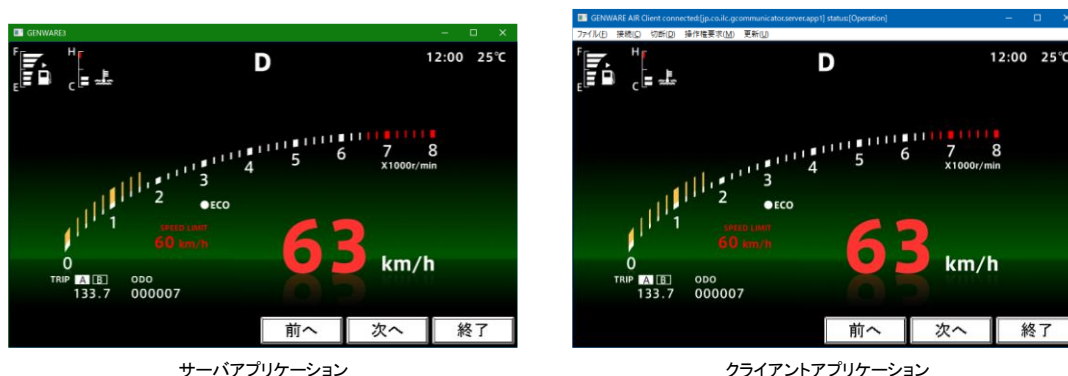


図 3-12 クライアントアプリケーションとサーバアプリケーションの連携動作

## 無償体験版でできること

### (4) アプリケーション操作方法

画面上の[前へ]、[次へ]ボタンを押下することにより画面切換えを行います。

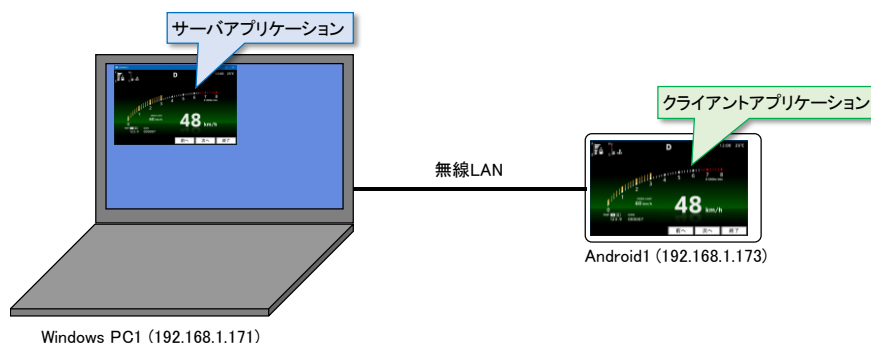
画面上の[終了]ボタンを押下することによりアプリケーションを終了します。

## 3-3 Windows PC とスマートデバイス間での GUI アプリケーションの連携動作

### 3-3-1 システム構成

Windows PC 上のサーバアプリケーションとスマートデバイス上のクライアントアプリケーションを動作させる構成となります。

※下図の IP アドレスはサンプル例となります。お客様のネットワーク環境に合わせて読み替えてください。



### 3-3-2 Android 用クライアントアプリケーションのダウンロード

#### (1) Android OS の設定変更

Android 用クライアントアプリケーションのサンプルは ILC のホームページからダウンロードしてインストールを行います。

前準備として、Android OS の「提供元不明のアプリケーションのインストール」の設定を一時的に「許可する」設定とします。

図 3-13 に設定画面の例を示します。詳細は各 Android 機器のマニュアルを参照ください。



図 3-13 提供元不明のアプリの許可設定(例)

## 無償体験版でできること

### (2) クライアントアプリケーションサンプルのダウンロード

Android 機器をインターネットに接続して ILC のホームページ(下記 URL、QR コード)にアクセスしていただき、ダウンロードボタンを押下するとクライアントアプリケーションサンプルのダウンロードが始まります。

ダウンロード完了後にインストール操作を実行してください。

[http://www.ilc.co.jp/commodity/genwareair/trial\\_android.html](http://www.ilc.co.jp/commodity/genwareair/trial_android.html)



### 3-3-3 プログラムの起動方法

#### (1) サーバアプリケーションの起動

Windows PC1 上で図 1-1 の Server1.exe を起動してください。

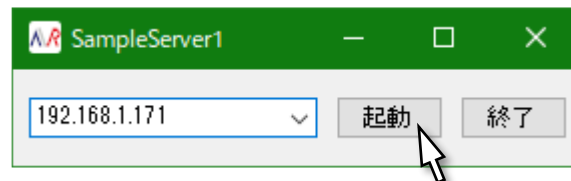


図 3-14 サーバアプリケーションの起動

Windows PC1 と Android1 を接続するネットワークにおける Windows PC1 の IP アドレス(上記の例では 192.168.1.171)を選択した状態で[起動]ボタンを押下してください。

#### (2) クライアントアプリケーションの起動

Windows PC1 と接続可能な Network 環境に Android1 を接続します。

3-3-2 項でインストールしたクライアントアプリケーションを起動します。

図 3-15 にクライアントアプリケーションの起動操作例を示します。詳細は各 Android 機器のマニュアルを参照ください。



図 3-15 クライアントアプリケーションの起動操作(例)

## 無償体験版でできること

### (3) クライアントアプリケーションとサーバアプリケーションの接続

クライアントアプリケーションの画面左端から右に向かってタッチスワイプ操作を行うと、接続用メニューを表示します。

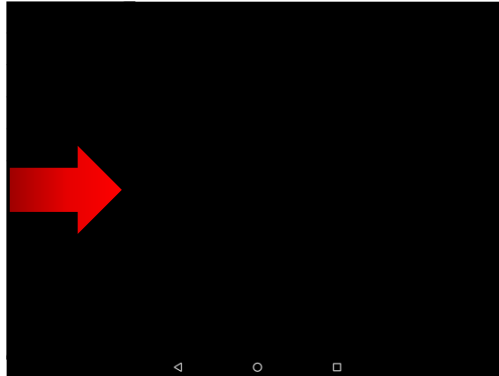


図 3-16 クライアントアプリケーションのメニュー表示操作

クライアントアプリケーションのメニュー項目の[接続]を選択します。

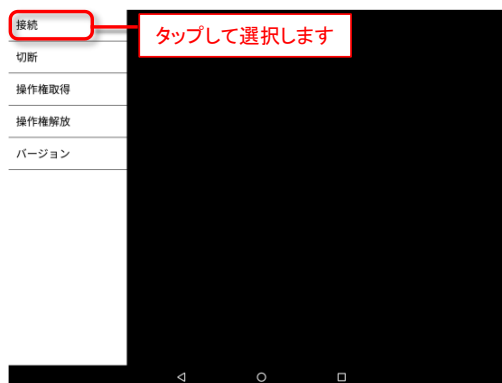


図 3-17 接続の選択操作

## 無償体験版でできること

接続先として[jp.co.ilc.gcommunicator.server.app1 / xxx.xxx.xxx.xxx/24:60001]を選択します。

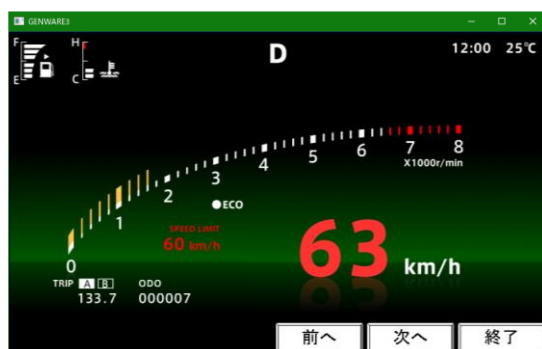
※xxx.xxx.xxx.xxx の部分はお客様のネットワーク環境に依存します。

※接続先の名称が表示されない場合は、クライアントアプリケーションを終了し、Android OS のタスク表示一覧から削除した上でクライアントアプリケーションの再起動をお願いします。

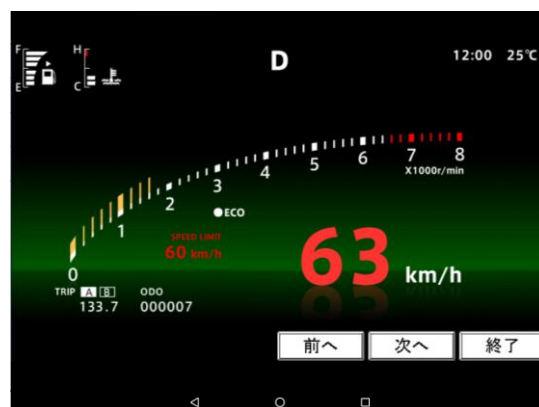


図 3-18 接続先の選択操作

クライアントアプリケーションとサーバアプリケーションの連携動作が始まります。



サーバアプリケーション



クライアントアプリケーション

図 3-19 クライアントアプリケーションとサーバアプリケーションの連携動作

### (4) アプリケーション操作方法

画面上の[前へ]、[次へ]ボタンを押下することにより画面切換えを行います。

画面上の[終了]ボタンを押下することによりアプリケーションを終了します。

次のステップへ

---

## 4 次のステップへ

本無償体験版を使用して GENWARE AIR の動作を理解いただき、興味をお持ちいただいたお客様には以下のステップをご用意しております。

### 4-1 Raspberry Pi を使用した PoC 開発キット

本無償体験版では、サーバアプリケーションは Windows 環境での動作となりますが、組込 Linux ボードである Raspberry Pi 上で動作確認および PoC 開発が可能な ILC AIR Kit を販売しています。

詳細は、ILC ホームページ(下記 URL)を参照ください。

[http://www.ilc.co.jp/commodity/ilcairkit/index\\_promotion.html](http://www.ilc.co.jp/commodity/ilcairkit/index_promotion.html)

### 4-2 GENWARE AIR 商品貸出し

弊社では、GENWARE AIR を期間限定でご使用いただける商品貸出しも行っています。

詳細は、下記へお問い合わせください。

FACTICS(ファクティクス)テクニカルセンター

TEL : 082-262-7799 (受付時間:午前 9 時～午後 5 時:土日祝日を除く)

FAX : 082-263-4411 (常時受付)

E-Mail : [fa@ilc.co.jp](mailto:fa@ilc.co.jp) (常時受付)